科目ナンバリング	U-LAS04 10011 LJ45				
授業科目名<英訳>	社会学II Sociology II		担当者所属職名・氏名	非常勤講師 高橋　顕也	
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

社会学には誰もが学ぶべき一般理論と呼べる王道は存在しない。したがって、社会学のものの見方を体得したいなら、学習者自身の興味関心と対話しつつ、多種多様な理論の間を逍遥していく必要があるだろう。
本講義では、社会学史を概観しながら、社会現象を理解し、解釈し、説明しようと試みてきた理論や学説について講義する。また、それらがどのような社会的背景のもとで考え出され、現代社会とそこに生きる個人をどのように捉えようとしてきたのかを解説する。
「社会学II」では古典的な総合（20世紀中葉）以降、マルチ・パラダイムの状況から現代の総合的理論に至るまでの道をたどる。

[到達目標]

1）社会学の理論や学説について把握し、それらが生み出された社会的背景と併せて、説明することができる。
2）社会学の理論や学説を用いて身近な社会現象について考えることができる。

[授業計画と内容]

第1回　社会思想と社会学の流れ（伝統・古典・収斂）
第2回　意味と解釈（1）
第3回　意味と解釈（2）
第4回　意味と解釈（3）
第5回　意味と解釈（4）
第6回　合理的選択
第7回　コンフリクトの社会学
第8回　構造化理論
第9回　コミュニケーション的行為の理論
第10回　社会学的システム理論
第11回　差異と構造
第12回　界・資本・ハビトゥス
第13回　知・権力・主体
第14回　社会学理論の行方
第15回　フィードバック

[履修要件]

本科目は、同じ授業担当者の「社会学Ⅰ」（前期）の内容の続きとなっているので、連続履修をすると両科目の理解が深まる。（連続履修は必須ではない）

社会学II(2)へ続く↓↓↓

社会学II(2)

[成績評価の方法・観点]

授業への参加状況、小テスト、小レポートなどの平常点（100点）により評価する。
詳細は初回の授業で説明する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

Joas, H. &. Knöbl, W. 『Social Theory: Twenty Introductory Lectures』（Cambridge University Press, 2009）ISBN:978-0521690881

Inglis, D. & Thorpe, Ch. 『An Invitation to Social Theory』（Polity, 2018）ISBN:978-1509506392

作田啓一・井上俊（編）『命題コレクション社会学』（筑摩書房, 2011）ISBN:978-4480094247

新睦人（編）『新しい社会学のあゆみ』（有斐閣, 2006）ISBN:978-4641123021

[授業外学修（予習・復習）等]

授業前後に、参考書や授業中に紹介する文献を読んでおくと理解が深まる。

[その他（オフィスアワー等）]

講義内容などについての質問は授業前後に教室で受け付ける。

[主要授業科目（学部・学科名）]